昭和26年3月12日第3種郵便物認可　平成24年9月1日発行（毎月1日発行）第62巻 第9号
ISSN 0913-9850

2012 Vol.62
9月号

MONTHLY かもつ

復興へ向けて「鉄道ネットワークによる絆」再び

CTなど医用機器の輸送に31ftコンテナ導入
東芝メディカルシステムズ株式会社

公益社団法人 鉄道貨物協会
日本貨物鉄道株式会社

公益社団法人 鉄道貨物協会

我が国の貨物輸送の分野について、物資の安定・供給及び地球環境負荷（輸送量当りのCO_2排出量）の観点から、輸送方法の研究及び研究成果の普及啓発活動を行い、以って国民の生活に不可欠な物資の安定供給及び地球環境の保全に資することを目的とする。

Index

表2 土木・建築遺産

1 復興へ向けて「鉄道ネットワークによる絆」再び
2 環境広場さっぽろ2012開催　北海道支部
3 物流施設見学会　新潟支部
4 エコレールマーク認定企業出展イベントにコラボ参加
6 平成24年度 夏季セミナーを開催　名古屋支部
8 要望書の提出
エコレールマークの周知活動
9 企業視察見学会を開催　北海道支部
コンテナ拡販会議を開催　東北支部 秋田県部会
10 ヘッドマークにエコレールマークを使用!!
神奈川臨海鉄道株式会社
11 お国自慢　富良野&美瑛の花風景

12 FREIGHT EYE

14 新規会員企業紹介　新日本製鐵株式会社
15 “エコレールマーク”ちゃんの出演映画が9月7日(金)公開!!!
協会ニュース／リフレッシュクイズ

16 モーダルシフト
東芝メディカルシステムズ株式会社
20 貨物駅の仕事ガイド
空コンテナの操配　札幌貨物ターミナル駅
22 SPOTLIGHT　新型TRACE
24 トピックス
表3 「FREIGHT EYE」撮影メモ／JR貨物輸送概況

公益社団法人 鉄道貨物協会

（撮影:阿戸信博）

2011年3月11日13時過ぎ東北本線 鹿島台駅～品井沼駅間を走行する第92列車 ED75 1039のまさに最後の雄姿となりました

復興へ向けて「鉄道ネットワークによる絆」再び

本誌が「鉄道ネットワークによる絆」第2弾を昨年9月号で掲載してから、1年が過ぎました。当時、陸前高田市の惨状を目の当たりにし、一日も早い復興への願いを記事に込めました。

震災後1年半を経過する現在、着実に再建が進んでいるところもある一方で、手つかずの更地が広がっていたり、膨大ながれきの山がそびえていたりと、被災地には課題も少なくありません。

鉄道貨物協会としては、引き続き震災からの復興の一助になれるよう、会員の皆様との絆を通じて、鉄道を基軸とした貨物輸送の輪を広げてまいります。

常磐線 山下駅～浜吉田駅間での第92列車被災状況
20両の貨車は流されてしまいましたが、ED75 1039だけは線路から外れず踏みとどまりました（この区間は未だ不通となっています）

JR貨物東北事業開発支店で制作したED75 1039メモリアルグッズ

震災をこころに刻む～被災機関車のメモリアル

本年7月に開催された東北支部の設立総会で、記念品として、あるキーホルダーが配られました。それには次のようなメモが付されていました。

「3月11日、大津波が92列車を襲いましたが、先頭の機関車（ED75 1039）はどっしりと線路に踏みとどまりました。このキーホルダーは津波にも耐えた機関車の雄姿を称え制作したものです。（中略）会員の皆様と共に新支部が発展して行くことを願い設立記念品としました。」

その機関車は海水に浸かってしまったため、残念ながら現地で解体・撤去されてしまいましたが、津波の惨状の中でしっかりと地に足を付けたその姿は、希望の象徴ともいえるものになりました。JR貨物東北事業開発支店では、キーホルダーのほか、その機関車に虹のかかった図柄のイラストをあしらったタオルハンカチも制作し、長く記憶にとどめるためのメモリアルとしています。

「忘れない」ということ。それも長い復興の道のりの中で大事なことだと思います。

北海道支部
- 日時/平成24年7月27日[金]～29日[日]
- 場所/アクセスサッポロ

開催された会場の正面ゲート

未来の地球とエネルギーを考える総合環境イベント

環境広場さっぽろ2012開催

7月27日(金)～7月29日(日)の3日間、アクセスサッポロにおいて、15回目の開催を迎える今年は、「みんなで考えよう! 地球のため、未来のために」をメインテーマとして「環境広場さっぽろ2012」が開催されました。

今回も全国通運連盟と鉄道貨物協会の協賛により出展することができました。鉄道模型を活用したブレーキコンテストは、夏休み期間中ということもあり親子での長蛇の列が後を絶たない状態で、支社からの派遣スタッフとの連携を図る対応となりました。他にもパネル展示によるクイズ&アンケートも実施し、約550枚のご協力をいただきました。

総入場者数はおよそ3万2千人と、盛況のうち無事終了することができました。鉄道貨物輸送、エコレールマークの存在を一般の方々に知っていただき、環境への取り組みをよりPRすることができた有意義なイベントとなりました。

ブース上にエコライフゾーンと掲げられた看板

エコレールマークについてもアンケート実施

多くの来場者で賑わった展示ブース

大人も子供も鉄道模型に興味津々

物流施設見学会

（新潟東港：新潟国際貿易ターミナル）

新潟支部

● 日時：平成24年8月21日［火］
● 場所：新潟東港・新潟国際貿易ターミナル

新潟支部では8月21日（火）15時から16時20分頃まで、新潟東港にある（株）新潟国際貿易ターミナルの物流施設見学会を実施しました。

出席は、協会会員14名及び事務局2名となりました。今回の見学会は、聖籠町役場 東港振興室のご協力をいただき、最初に東港紹介のDVD視聴ではじまり、聖籠町役場 東港振興室長の宮丸様より東港の現状についてのお話を頂戴し、その後、（株）新潟国際貿易ターミナル業務課長の高井様より資料に基づいて、最近の取扱貨物量推移・取扱品目・航路動向・荷役体制等の説明を受け、出席されました会員の方々も熱心に聞いておられました。また、最後に屋上から東港コンテナヤードの全景を見学させていただき、ここでも会員の皆様は熱心に見入っておられました。

ここで、東港のコンテナターミナル施設配置について幾つかご紹介させていただきます。

①岸壁は4面あり、西1号水深7.5m・西2号水深10m・西3号水深14m・西4号水深12mと、船舶に合わせた接岸が可能となってます。

②荷役機械として、スーパーガントリークレーン2基・ガントリークレーン1基で船舶荷役を行っており、1時間に約35個までの取扱が可能となっています。ストラドルキャリアー9基、トップリフター4基は、20ft・40ft級海上コンテナの移動に使用しています。

参考までに2011年（1月～12月）の実入りコンテナ数量（20ftコンテナ換算）は、輸出では約4.3万個（取扱量が多いのは、北越紀州製紙様の紙パルプ）、輸入では約14万個となっております。なお、平成8年5月24日設立以来、今までに荷物事故は全くないそうです。

JR貨物新潟支店でコンテナ利用を頂いている荷主企業様も、ここ東港をご利用されておりますし、利用運送事業者様も東港関係企業として登録されております。今回の見学会を通じて輸送手段の違いはありますが、安全輸送の確立を目指していくことの大切さを感じられたと思います。

新潟支部では行政機関とのタイアップによる鉄道貨物輸送の認知度向上の取組みやエコレールマークの普及拡大に向けたPR活動を行っており、9月30日にも新潟市「環境フェア」に出展する計画で、今後とも各種広報活動を継続してまいります。

見学前の説明会

荷役風景

ガントリークレーン

フマキラー様のブースの前でエコレールマークちゃんもお手伝い

エコレールマーク認定企業出展イベントにコラボ参加

花火の祭典“夏”

●日 時／平成24年8月14日［火］
●場 所／栃木県茂木市・ツインリンクもてぎ

お盆期間中の8月14日に栃木県茂木市の「ツインリンクもてぎ」で行われた「花火の祭典“夏”」のイベントに当協会のエコレールマーク事業のマスコット「エコレールマークちゃん」が参加し、エコレールマーク認定企業であるフマキラー様が出展しているブースで集客活動に一役買うとともに、集まった入場者にエコレールマークのパンフレットと広報グッズを配布し、エコレールマークの周知活動を行ないました。

このコラボイベントの取り組みは、今年3月のエコレールマーク運営・審査委員会において企業認定及び商品認定されましたフマキラー様が、栃木県ツインリンクもてぎ内にある施設「ハローウッズ」にて毎年夏の期間中、さまざまなイベントを開催するという話をお聞きしたことがきっかけで、コラボ（協同）参加が実現しました。

当日は、午前中小雨が降り花火の開催が心配されましたが、その後回復し暑い夏の一日となりました。ツインリンクもてぎ内にはメインのレーシングコース以外に各種乗り物のコース施設があり、夏休みイベントとして行われているショーやアトラクション会場とともに大勢の人で賑わっていましたが、夕刻近くになると花火目当ての入場者が更に増え、入場者数は約3万人となりました。その中でフマキラー様は虫除けスプレーの無料お試しを大勢の方に実施し、当協会も合わせてエコレールマークの周知活動を実施しました。当協会としては初めてエコレールマーク認定企業様のイベントにコラボ参加しましたが、エコレールマークちゃんの人気も上々で、多くの家族連れを中心に、記念撮影を行う姿が見られ、認知度向上に大いに成果をあげました。

会場となったツインリンクもてぎ

ハローウッズエントランス

虫むしワールドの大冒険ラリーの入口

ハローウッズに設置されたフマキラーさんのパネル

ブースの前に出された認定の看板

モテモテのエコレールマークちゃん…ハイ・パチリ!!

お客様に無料で虫よけのサービス

多くのお客さまがご来場し賑やかでした

本格的に楽しめるゴーカート

花火大会の看板

華麗に打ち上げられた花火「たまや〜」

平成24年度 夏季セミナーを開催

名古屋支部

● 日時：平成24年8月24日［金］
● 場所：名鉄ニューグランドホテル

名古屋支部では、平成24年8月24日（金）名鉄ニューグランドホテルにおいて夏季セミナーを開催しました。

冒頭、名古屋支部寺井克宏幹事長（日本通運（株）執行役員名古屋支店長）の挨拶を頂きました。セミナーは2部構成で、第一部は公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会のJILS総合研究所久保田精一氏の「物流コストの実態とコスト削減への取組み方」というテーマで、ご講演いただき、物流コスト削減のためには、荷主企業自らが物流コスト構造を把握したうえで、物流改善施策を検討し取組むことが必要不可欠ということで、物流コスト削減策を重点に講演されました。第二部ではクレーム処理研究会主宰川田茂雄氏による「百戦百勝！ クレーム対応の極意」…「クレーム」と「安全」は小さいうちに解決せよ…というテーマで講演をいただきました。

講演：物流コストの実態とコスト削減の取組み方

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会
久保田 精一氏

講演：百戦百勝！ クレーム対応の極意

クレーム処理研究会主宰
川田 茂雄氏

第一部 物流コストの実態とコスト削減への取組み方
講師・久保田 精一氏

Ⅰ. 最初に物流コスト把握の意義について、これから10年程度を見据えた将来の課題の優先順位として荷主（含む物流子会社）側、物流事業者ともに、一に、コスト関連として①ロジスティクスを通じた企業競争力を強化し、低コスト・高品質の物流の追求②コスト削減、高付加価値サービスの提供など利益の出る体質への転換などが上位を占めています。他に海外進出、リスクマネジメント、コンプライアンス、環境負荷低減などが主な課題となっています。しかし、物流コストは見えづらく解りにくい、その為に先ず「見える化」…（イ）現状を知ること、（ロ）問題の所在を知ることを図る。二つめに「コミュニケーション」…（イ）共通認識を作ること、（ロ）担当者に問題認識を伝えること。三つ目に「評価」…（イ）担当者に解決を促すこと、（ロ）担当者に痛みを感じさせること、この三つを常に測定することが重要であります。

因みに、2011年度売上げ物流コスト比率の実績値は4.9%で2年連続微増で明らかに下げ止まり傾向、1996年度と比べると3／4の水準（25%減）と成っています。

Ⅱ. 機能別、業種別などでみた特徴として

（1）物流コストの内訳（全業種平均）の支払形態別では支払物流費が85%と圧倒的に大きく、自家物流費は15%であります。機能別に見ると、輸送費58%、保管費15%、荷役費16%、包装費5%、物流管理費6%となっています。

（2）支払形態別の構成比の推移を見るとアウトソーシングの進展で自家物流費は1998年度28%⇒2011年度15%と低下傾向、物流子会社向けの支払物流費も2000年度23%⇒2011年度14%とこれも低下傾向になっています。

（3）業種別物流コスト比率の高いものは、製造業のうち、「食品（要冷）:9.4%」「窯業・土石・ガラス・セメント:8.8%」「紙・パルプ:6.8%」であり、特殊な取扱を要する貨物や、重量や容積の割に商品価格が低い貨物は、コスト比率が高くなります。又卸売業、小売業ではサービスレベルが高い（小ロット、短リードタイム、多アイテムなど）ことが特徴であります。製造業の場合は製品の特性の影響が大きいが、流通業の場合はサービスレベルがコストに及ぼす影響が大きくなります。

Ⅲ. 物流コスト削減策として

（1）物流コスト削減策を①どの削減策を実施したか②どの削減策が効果があったか③具体的な取組み内容について調査結果は特に「在庫削減・SCM」「物流拠点の見直し」「保管の効率化」「積載率の向上、輸送経路の見直し」「環境・省エネルギー＝モーダルシフト」「その他＝事故防止対策の実施」などの対策について解りやすく実施対策の具体例をあげながら講演があり、出席者は熱心に聴講していました。

第二部 百戦百勝! クレーム対応の極意
講師・川田 茂雄氏

最初に、一件のクレームの陰に沢山の小さな問題があり、①「安全の問題」と「クレーム問題」はよく似ている＝ハインリッヒの法則②サイレントクレーマー（物言わぬ人は多い）③小さな問題を繰り返していると、ある日、大きな問題を起こす④問題を顧客のせいにして会社をかばう⑤一歩踏み込み実情把握、早期対応が必要であります。次に世相を反映するクレームの実例を紹介、消費者の4つの権利（安全を求める権利、知らされる権利、選ぶ権利、意見を聞いてもらう権利）があることを認識しておかなければいけません。クレームに対する共通認識として①たらい回しにしない②クレーム情報を社内にフィードバックすること。徹底した自己解析～法律的見地から検討～クレームに隠された真の問題を探る～解決策の提案～粘り強く交渉～継続的なフォロー～社内に対して改善を要求することが大事です。

最近のクレーム処理は命がけの時代に入ってきていることを事例を挙げて紹介、クレームは受け身ではなくアクティブに、①普段からお客様の中に入り、どんな使い方・行動・考え方をするのかを把握しておく②「出来るサービス」は普段から一歩踏み込んでする。③いかに社内に仲間を作るか、お客様を増やすか、販売店を仲間につけるかがクレームを減らす第一歩です。

最後にクレーム処理における心構えとして、①とにかく冷静であること。相手先では普段からテープが回っている。②粘り強く交渉。反論のあるうちは交渉を打ち切るな。③おごりうぬぼれはないか? ブランドの、職人の、そして技術者の独善はないか? ④90%の自信と10%の畏れをもって耳を傾けよ。⑤最悪の出会いを最高の出会いに変えて真のファン作りこそがクレーム処理に託された唯一の道であります。（最後まで出席者を飽きさせない話術で面白く解りやすい講演でありました）

要望書の提出

協会本部は、平成24年度定時社員総会で承認された「政府等関係機関への要望書」を次の通り提出し要請を行いました。

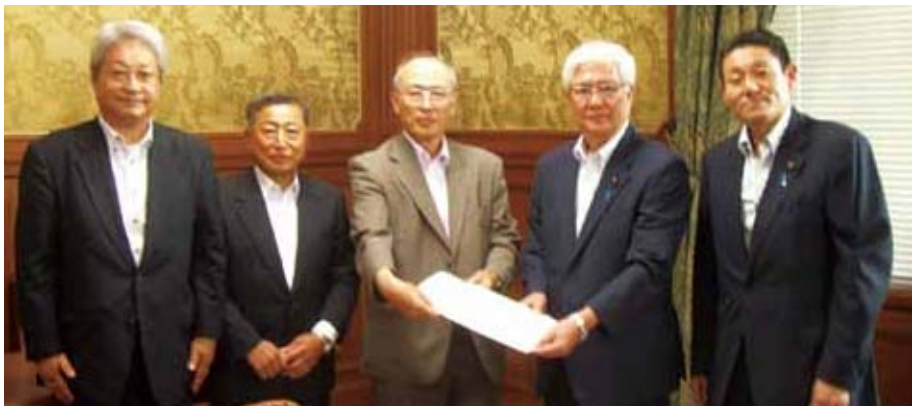
1. 平成24年7月23日(月)
A. 場　所 衆議院第一別館
B. 面談者
・小林 正夫 参議院議員(民主党企業団体対策委員長)
・笠 浩史 衆議院議員(民主党総括副幹事長)
2. 平成24年8月6日(月)
A. 場　所 国土交通省大臣政務官室
B. 面談者
・津川 祥吾 国土交通大臣政務官(衆議院議員)

要望書の提出にあたっては、米本理事長より要望書にある次の項目について説明し、政府関係機関からの特段の支援を要請いたしました。

(1)東日本大震災の被災地域への支援
(2)輸送ニーズに応えた鉄道貨物輸送を支えるインフラの整備
(3)モーダルシフトに関するソフト面での具体的支援策の創設
(4)鉄道貨物輸送と国際物流の関係強化
(5)整備新幹線延伸に伴うネットワークの維持と受損の回避
(6)エコレールマーク事業の推進

なお、要望書の詳細は、「マンスリーかもつ6月号」に掲載しておりますのでご参照下さい。

3. 次の写真は、7月23日(月)要望書提出時のもので、笠議員からのお声掛けで撮影したものです。



米本理事長(中央)、小林 議員(右から2人目)、笠 議員(右)

エコレールマークの周知活動

宇都宮で開催されたモーダルシフト説明会で協会本部から紹介

鉄道貨物輸送の利用を通じて地球環境に貢献している企業や商品を認定するエコレールマークは、国土交通省が制定し、当協会がその取組みを多くの方に知っていただくために事務局として周知活動を行っています。

その活動として、各地区で行われるイベントや環境展に出展し、認定商品の紹介、パンフレットの配布等を行っています。また、広告媒体を使っての宣伝活動もしています。さらに荷主企業、利用運送事業者、貨物鉄道事業者など関係者が出席される会議等の中で、エコレールマークの認知度を高めようとしています。

その取組みとして、去る7月26日に宇都宮貨物ターミナル駅で開催されました、「モーダルシフト説明会」で協会本部から、エコレールマークの目的や認定基準の説明、具体的な取得方、現在の認定取得状況及び最近の話題などについて説明及び紹介をしました。参加の皆様からは、「エコレールマークについて良く理解できた」というご意見を頂くことが出来ました。事務局としては、今後もこのような機会にエコレールマークの周知活動を行うこととしています。

多くの参加者にエコレールマークの説明・紹介

北海道支部 企業視察見学会を開催

日本環境安全事業(株)のPCB処理施設を見学

北海道支部では、7月24日(火)企業視察見学会を25名の幹事・役員の方々を迎えて開催しました。鉄道貨物協会本部から井上総務部長も参加し、室蘭地区の低濃度PCB処理施設の見学及び室蘭港洋上視察を実施しました。低濃度PCB処理施設の徹底的な安全管理に感心するとともに、洋上視察では室蘭市の製鉄所・製油所の大きさに感嘆しました。

また、陣屋町駅まで甲種輸送されたミャンマー向け輸出用の気動車及びタンク貨車を洋上から視察しました。

ミャンマー向けに輸出される気動車とタンク貨車

見学した室蘭港をバックに記念撮影

利用促進会議
コンテナ拡販会議を開催

東北支部 秋田県部会

- 日時/平成24年7月24日(火)
- 場所/ホテルメトロポリタン秋田

会議次第

1、主催者挨拶

秋田県部会 松本事務局長(JR貨物 秋田営業支店長)

2、挨　拶

JR貨物 東北支社 坂地営業課長(来賓)

鉄道貨物協会本部 開藤理事業務部長

3、議　題

A. 最近の輸送状況について

B. コンテナ貨物増送に向けての取組みについて

C. 盆休期輸送計画について

D. 平成25年春ダイヤ改正について

E. その他

(1)鉄道貨物協会本部

a. エコレールマーク制度について

b. エコレールマークの認定状況について

c. エコレールマークと熱中症予防声かけプロジェクトについて

(2)日本石油輸送(株)東北支店 高野支店長

スーパーURのご利用について

(3)秋田総合鉄道部 西山部長

コンテナ積載時の注意事項について

F. 出席者は荷主企業様を含め24名となり、質疑応答も含め、充実した会議となりました。

4、横手産スイカのコンテナ輸送業務について

コンテナ拡販の一環として、昨年は内航扱いとなった「関西向けスイカの輸送」を本年はJRコンテナ扱に復活させることが出来ました。7月22日より発送開始し、今シーズン120基の発送を予定しています。

活発な意見交換が行われた会場

コンテナに積み込まれる横手産スイカ

神奈川臨海鉄道株式会社

ヘッドマークにエコレールマークを使用!!

第26回エコレールマーク運営・審査委員会において協賛企業に認定された神奈川臨海鉄道(株)様が、機関車のヘッドマークにエコレールマークを採用されました。

神奈川臨海鉄道(株)様では、エコレールマーク認定企業である日清オイリオグループ(株)様の商品や石油輸送などの実績を基にエコレールマーク協賛企業として申請されました。

当該ヘッドマークを機に、益々エコレールマークの認知度が深まるようご協力いただくこととなります。

道路沿いを走るヘッドマーク列車▶

◀横浜本牧駅全景

神奈川臨海鉄道(株)様は、昭和38年6月1日に設立され川崎地区の鉄道貨物輸送を開始し、昭和44年には横浜地区の鉄道貨物輸送も手掛けられるようになりました。

以来、地球環境に優しい鉄道貨物輸送による原材料、製品及び輸出入貨物の輸送を通じて、地域経済の発展に寄与されています。

来年6月1日には、創立50周年を迎えられます。記念行事として、横浜本牧駅において大々的にイベントを予定されているようでこちらも楽しみなところです。

お国自慢

大地を紫一色に染める彩香の里

富良野&美瑛の花風景

富良野市は、上川（かみかわ）支庁管内の南部に位置し、北海道のほぼ中央にあり、富良野盆地の中核をなし、札幌からは150km、JRで2時間、旭川からは60km、JRで1時間かかります。富良野市の総面積は600km²で、人口2万6千人。東方に大雪山系十勝岳、西方に夕張山系芦別岳がそびえ、市域の約7割が山林という恵まれた自然条件にあり、盆地特有の内陸性気候のため、気温の寒暖の差が大きく、スイカ、メロン、ブドウ、ジャガイモなどの栽培に適しています。基幹産業は、畑作を中心とした農業ですが、近年はワールドカップが開催されるなど日本を代表する国際スキー場のある街として、また、ラベンダーの街、ドラマ「北の国から」の舞台になった街としても有名で、毎年200万人を超える観光客が訪れています。

担当：北海道支部（渡辺良子）

香りを楽しみながら散策してみよう…

ラベンダーの里として、全国から多くの人が訪れる『ファーム富田』。その歴史は古く、1975年頃に数々のラベンダー畑がなくなっていった中で唯一残り、栽培し続けてきた場所としても知られています。
現在、12ヘクタールの花農場『ファーム富田』は、紫の花の香りに誘われて全国から年間90万人もの観光客が訪れるラベンダー観光発祥の地でもあります。

●ウェルカムハウス

「ドライフラワーの舎」や「ポプリの舎」などのショップも立ち並び、いろいろな展示やオリジナルのグッズも豊富に揃う。良質なラベンダーオイルやせっけんなどが、おみやげとして人気が高く、また、散策の途中にファーム内のカフェに立ち寄り、人気のラベンダーソフトクリームを味わうのもおすすめ。

新日本製鐵

〒100-8071　東京都千代田区丸の内二丁目6番1号（丸の内パークビルディング）　TEL（03）6867-4111
http://www.nsc.co.jp/

先進のその先へ、新日鉄

当社のご紹介

当社は**グローバルプレイヤーとして**海外成長市場での中核的地位の確立を目指すとともに、経営戦略を支える**「技術先進性」と「現場力」**の一層の強化、**環境先進企業**を目指した取組みを進めています。

八幡第4高炉

製造実力、商品・プロセス開発力、設備技術力のみならず、人材力も含めた、**総合的な技術力（＝「技術先進性」）**と、狭義のものづくりだけではなく、営業・製造・技術・輸送・購買・資金などを含めた**「現場」での力（＝「現場力」）**を絶えず見直し、鍛えていくことで、当社の成長を支える強みを拡大させてゆきたいと考えております。

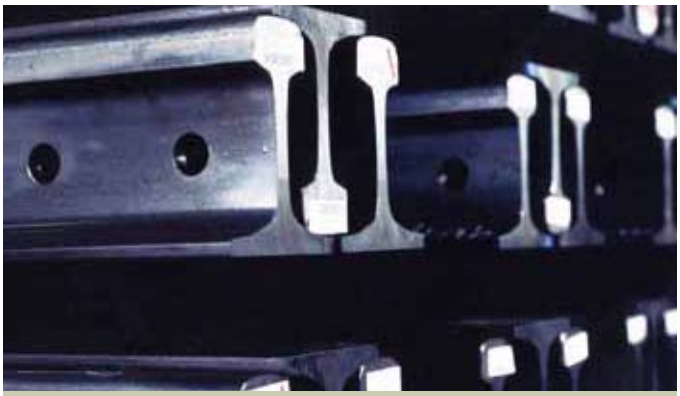
CO_2排出削減を目指して「2008～2012年度に1990年度比エネルギー消費量10%削減」の目標を掲げ、自主行動計画に取り組んでいます。また生産における省エネルギーだけでなく省エネルギー技術移転やフロン破壊のCDMプロジェクトを推進しております。製鉄業ならではの高温での融解技術を生かし、一般家庭から分別回収するプラスチック容器や廃タイヤを融解し資源として再利用するなど循環型社会構築への参画にも取り組んでいます。

本年10月1日に発足予定の**新日鐵住金株式会社**は、スケール、コスト、テクノロジー、カスタマーサービス等、全ての面でレベルアップした「総合力No.1の鉄鋼メーカー」を目指して参ります。

新日鉄のレール

新日鉄のレールは、1901年八幡製鉄所の創業と共に製造を開始しました。以来、長年にわたり培われた技術と、最新の設備によって製造されています。新日鉄のレールは、国内需要の大半をしめるばかりでなく、海外にも大量に輸出されており、その品質の優秀性は、内外から高く評価されています。環境にやさしい交通機関である鉄道のお役にたつべく最先端の技術により、卓越した品質のレールを提供してきました。レールの種類も、重荷重鉄道用をはじめ一般旅客用、高速鉄道用など幅広くご使用いただけるよう、サイズ、材質を豊富にとりそろえております。また、普通レールの他、熱処理レール、特殊サイズのレールもあわせて製造しており、世界有数のレールメーカーとして世界の鉄道輸送のお役に立っています。

レールの製造風景


完成した製品

特報

わたしがどんなシーンに登場するか?
皆さん観に来てね!!!

“エコレールマーク”ちゃんの出演映画が〔踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望〕9月7日(金)公開!!!

あの超人気映画「踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望」がいよいよ9月7日(金)に封切となりますが、その映画に当協会の事業活動の柱の一つであるエコレールマーク推進事業のマスコット「エコレールマークちゃん」が出演します!

エコレールマークちゃんが映画出演することになったきっかけは、昨年12月に東京ビッグサイトで行われた「エコプロダクツ2011」で、映画で使用する環境キャラクターを探していた当映画の助監督にイメージがぴったりであると一目ぼれされ、スカウトされました。

協会ニュース

平成24年9～10月分実施項目

本　部

9月　2日(日)／JR貨物フェスタ2012inアリオ北砂(東京都江東区)
9月11日(火)～14日(金)／国際物流総合展2012(東京ビッグサイト)
10月　6日(土)～7日(日)／第19回「鉄道の日」「鉄道フェスティバル」(明治公園)

支　部

●東北支部
9月30日(日)／鉄道フェスティバルin東北(仙台タ駅)
●新潟支部
9月30日(日)／新潟市環境フェア(新潟市万代シテイ通り)
●東京支部
10月10日(水)／関東甲信越連絡協議会、夏季セミナー(東京スカイツリー見学・講演会)
10月28日(日)／隅田川駅貨物フェスティバル(隅田川駅)
●近畿支部
9月22日(土)～23日(日)／姫路環境フェスティバル(大手前公園)
●広島支部
10月28日(日)／第19回広島車両所公開フェスティバル(広島車両所)

MONTHLY かもつ・9月号　第62巻・第9号　2012年（平成24年）9月1日発行（毎月1日発行）

発行／公益社団法人 鉄道貨物協会
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-4 吹田屋ビル4階
☎03-5256-0577　FAX03-5256-9220
鉄道貨物協会インターネットホームページアドレス http://www.rfa.or.jp

編集／ 公益社団法人 鉄道貨物協会・日本貨物鉄道株式会社
（株）ジェイアール貨物・リサーチセンター
印刷／（株）恒陽社印刷所活版事業部

線路は運ぶよ、エコまでも。

国土交通省

エコレールマーク

地球環境にやさしい鉄道貨物輸送を取り入れている※
商品や企業に、エコレールマークを認定しています。

※鉄道貨物輸送のCO_2排出量は、営業用トラックの約1/6です。

みなさんが店頭で商品を手に取ったとき、その商品がどのように運ばれてきたのか気にしたことはありますか？ 実は、商品がお店まで運ばれる手段にもエコがあるのです。見えないところでもエコ活動。運ぶ手段のエコにもっと注目してほしいと思います。

あなたの身近にある商品にも!? どんな商品や企業が認定されているかCHECK!→ エコレールマーク 検索

【お問合せ】国土交通省 鉄道局貨物鉄道政策室 TEL:03-5253-8111(内線40223) http://www.mlit.go.jp/tetudo/　公益社団法人 鉄道貨物協会 エコレールマーク事務局 TEL:03-5256-0580 http://www.rfa.or.jp/ecorail/index.html

みんなで声をかけあって、熱中症を予防しよう！

ひと涼みしよう

熱中症予防　声かけプロジェクト

熱中症を予防する5つの声かけ

- 飲み物を持ち歩こう
- 休息をとろう
- 声をかけ合おう
- 栄養をとろう
- 温度に気をくばろう

ひと涼み 検索

http://hitosuzumi.jp/

MONTHLY かもつ

平成24年9月1日発行（毎月1回1日発行）昭和26年3月12日 第三種郵便物認可 MONTHLYかもつ 9月号 第62巻 第9号 頒価420円（本体価格400円 送料別 会員の購読料は年会費に含まれます） ISSN 0913-9850